

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

取扱説明書

ハンドウインチ (共通)

品番: HW-8 (800kg)

HW-16 (1600kg)

HW-32 (3200kg)

この度は、KIKAIYA「ハンドウインチ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます

* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく組立て安全にご使用ください

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください



※画像は 3200kg タイプの製品です。(能力によって形状が若干異なります)

コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) info@kikaiya.com

「ご注意」

適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ安全な作業をしていただく為、ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してからご使用ください。

本機を本来の使用用途以外の目的では使わないでください。(本製品の改造はしないでください)

本書は、お使いになる方がいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

安全上の注意や製品仕様などは改良の為、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と取扱説明書に記載された内容が一部異なる場合がありますのでご了承下さい。

■開封時

商品が届きましたら、ただちに開封し次の項目を確認してください。

- ✓ ご注文商品と仕様に違いがないか。
- ✓ 本体に不備・異常がないか。

万一不具合(パーツ品の欠品、破損、動作不良等)が発見された場合は、すぐに販売店へご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身/動作をご確認ください

(本書記載内容は、改良のため予告なく変更する事があります)

■調査及び修理をご依頼の前に

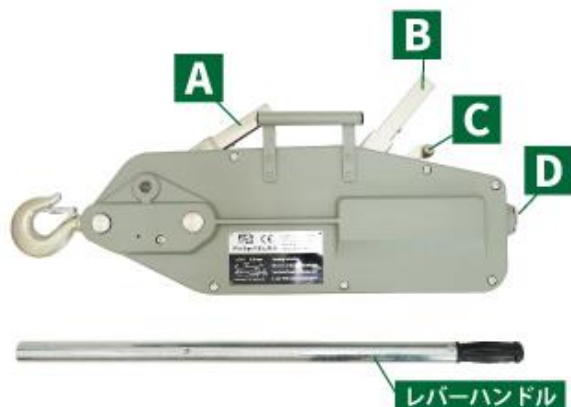
* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

安全・使用上の注意事項

- 定格荷重以内でご使用ください。オーバーロードは製品故障や事故の原因にもつながり、大変危険です。
- 使用前には本体やワイヤーに破損(割れ/亀裂/ワイヤーロープの素線切れ等)がないか必ず確認してください。(上記の不良が発見された場合は、交換・修理作業をしてからご使用ください)
- 使用中に異常が発見された場合はすぐに使用を中止してください。
- 本体固定は必ず十分な強度を有するワイヤースリングを使用してください。
- (Aレバー)と(Bレバー)の同時操作はしないでください。
- この製品は横引き用です。吊上げ作業には使用しないでください。
- 使用前/使用後には注油をしてください。
- 使用後は必ず(Cレバー)を元に戻しておいてください。掛放して保管するとスプリングが弱くなり故障の原因となります。
- ワイヤーロープについた土砂はふき取り定期的に油を塗ってください。
- 雨露にさらしたり、湿気のある所や化学薬品のある所に放置しないでください。錆の原因となります。
- お子様の手が触れない場所で使用や保管をしてください。
- 作業に適した服装(安全メガネ・ヘルメット・手袋・安全靴等)でご使用ください。
- 防水仕様ではございません。本体が濡れないようにしてください。



<レバー名称>

- (A) = 前進レバー
- (B) = バックレバー
- (C) = ロックレバー
- (D) = ワイヤー挿入口

「仕様」

| モデル (品番) | 定格荷重 | 付属ワイヤー(直径/長さ) | 安全ピン 収納場所 |
|-------------|--------|---------------|--------------|
| HW-8 | 800kg | φ8.3mm/20m | ハンドルの中 |
| HW-16 | 1600kg | φ11mm/20m | 本体持ち手ハンドルの中 |
| HW-32 | 3200kg | φ16mm/20m | 本体持ち手ハンドルの中 |

※スペアの安全ピンはモデルにより収納場所が異なります。

800kg(HW-800)タイプ



1600kg(HW-16)・3200kg(HW-32)タイプ



※ウインチに規定以上の力がかかると、安全性を考慮して「レバー(A)」の安全ピンが折れる様に設計されています。再使用の際は、交換用の安全ピンに取り替えてからご使用ください。



「使用方法」

(モデルによって多少形状が異なりますが基本操作は同じです)

ハンドウインチの使い方



1. Cレバーを矢印(→)の方向にスライドさせてロックを解除する (この時はワイヤーがフリーの状態です)
2. Dからワイヤーエンドを挿入し、適切な位置までいれます
3. Cのレバーを元の位置に戻し、ワイヤーをホールドする
※勢いよく戻りますので、手や指を挟まないようご注意ください
4. ワイヤーを引っ張る場合はA、戻す場合はBにレバーハンドルを取付けて操作してください

【ワイヤーロープの取扱方法】

ワイヤーロープはロープホルダーに巻かれています。無理に引っ張って解きますと、ワイヤーによりがかかったりキンク等の原因となりますので、ゆっくりと丁寧に解いてからご使用ください。



ロープホルダーから
丁寧に解いて下さい

「メンテナンス」

必要に応じて定期的に点検・確認作業をしてください。

【注油方法】

本体可動部に油がいきわたるように、オイル又はグリスを注油してください。

注油後は油がなじむまで(Bレバー)を固定させ、(Aレバー)を数回前後に動かし、

更に(Aレバー)を固定させ(Bレバー)を数回前後に動かしてください。

(シンナー・ガソリン・灯油等は絶対に使用しないでください)

【保守・点検】

1ヶ月に一度は下記の項目について自主点検を行ってください。

- ① 製品本体(パイプハンドル含む)の腐食・亀裂・変形・操作異常の有無
- ② ワイヤーロープの摩耗・損傷・キンク等の有無
- ③ 安全ピンの切断・亀裂等の有無
- ④ その他、異常の有無